

まつうら 市議会だより

第53号

令和2年2月1日

編集・発行

広報特別委員会

電話 (0956) 72-1111

令和元年度一般会計補正予算4億3864万円を可決

令和元年8月豪雨の災害復旧費が計上されました。

12月
定例会



【鷹島町 マグロの解体】



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

令和元年 12月定例会

令和元年12月定例会を、12月6日(金)から12月19日(木)までの14日間で開催しました。

今回の定例会では、松浦市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正など条例12件、令和元年度各会計補正予算18件、その他の議案4件及び請願2件の合計36議案が上程され、いずれも原案のとおり可決及び採択いたしました。

最終日には、同意案2件及び議員提出議案1件が上程され、原案のとおり同意及び可決いたしました。
(※議案等の審議結果については、12ページに掲載)

会期日程

12月
6日(金)

本会議

▽会期の決定

▽議長の報告

▽市長の市政概況報告

▽総務委員会の行政調査報告

▽文教厚生委員会の中間報告

▽西九州自動車道整備促進特別委員会

▽決算審査特別委員会の審査報告・採決

▽議案の上程・説明・質疑・主管委員会付託

▽請願の受理報告・主管委員会付託

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

議会の傍聴に おでかけください。

次の定例市議会は

3月です。

議会はインターネット中継でもご覧いただけます。

松浦市公式ホームページを通じて生放送しますので、ご自宅のパソコン、スマートフォン等で視聴が可能です。

また、編集が終わりましたら、録画映像の配信も行います。

市議会だよりの「表紙写真」

を募集しています。

松浦市公式ホームページアドレス
<https://www.city-matsura.jp/>

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

TEL(0656)72-1111

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は、60分以内(答弁と関連質問を含む)という取り決めになっています。

今定例会では、12月9日から12日までの4日間で13人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。(登壇順)

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館

一般質問



久枝 議員

○市道不老山公園線並びに付近崩壊及び農道西庄線復旧について

質 市道区域の道路復旧を市が行い、市道上部と下部の斜面対策は県が行うとのこと。市道不老山公園線の工事着手と工事完了の予定は。

建設課長 県が行う地滑り対策事業の進捗に合わせる必要があるため、現時点で土砂撤去工事の発注ができない状況です。市の災害復旧事業の最終完了は令和3年度以降になると考えています。

質 完了の予定が令和3年以降ですが、県からの補助とは。

建設課長 市道は公共土木施設災害復旧事業で国から補助を受けています。県からは技術的な支援を受けています。

質 志佐町の農道西庄線の現状と工事着手はいつか。

農林課長 測量、地質等調査ボーリング、地質の解析、設計業務等を発注しました。今後、ある程度の想定で設計を行いますので、地滑りの規模、位置、水位の状況等で動きがどのようにあるかを確認してから、工事の発注を行います。

質 国庫補助は何割か。

農林課長 暫定的な補助率としては、

農薬用施設として65%です。

○県下一周駅伝補助金減額について

質 関東から選手は通常6、8名の参加があります。飛行機代は出るが途中の旅費がでない。試合当日、スタッフの旅費代は出るが高送料金は自前、小学生参加には本来体調を考えて旅館泊まりが最適であるが経費を考えて保護者による当日の送迎である。各種補助金並びに寄附金があるがきちんと計上するならば約69万6千円の赤字である。新年度の補助金の予定は。

教育長 来年度の補助金については、今後の予算編成や議会の審議によって決定されますが、市民の皆様も選手活躍を期待されていますし、関係者の皆様も様々な努力をされていますので、できる限り支援を行っていきたくと考えています。

質 教育長の答弁はファジーであるので、市長の明確な答弁を。

市長 県下一周駅伝は、小学生から壮年まで様々な年代の皆さんが一つのチームとしてまとまり、郷土の代表として誇りを胸に頑張っておられます。また、市民の皆様にとっても活力のもととなる素晴らしい大会であることは十分認識しています。市としてもできる限りの支援措置をしたいと思いますが、来年度の予算編成については、厳しさを増している状況の中で全体のバランスを考慮して適切に対応したいと考えます。

一般質問



立 鈴 議員

○人口増進施策の現状について

質 人口増は喫緊の課題である。あと何十年後に来るであろう現実ではないかと懸念される。多岐にわたり施策を講じているであろうが、現状は猶予できない人口減少が今も進んでいる。この人口減少課題は行政だけで解決できることではない。そこに住む多くの市民が知恵を出し、他の自治体が驚くほど注目すべき施策を講じることによって、他自治体からの移住者の増加を図ること、また子育てが他自治体からして比較にならない対応がなされるなどの諸施策が重要であると考えられるが、現状と今後について伺いたい。

政策企画課長 本市の将来的な人口に関する目標、指針については、松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョンに示しています。この人口ビジョンにおいて、2040年に人口約1万8000人を確保することを目標といたしております。これは、国立社会保障・人口問題研究所の最新の人口推計を上回るものです。この目標を達成するために、総合戦略において、仕事人が人を呼び、人が仕事を呼び込むという好循環を

確立することで松浦へ新たな人の流れを生み出すこと、人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会環境を作り出す。この好循環を確立されることを基本として、仕事、人、まちの創生に関する各施策を実施しています。

○河川地・山間地災害危険マップ現況について

質 市内における河川地域及び山間地域の災害危険箇所ハザードマップ活用がどのようになっているのか、特に地滑り箇所等の疑いがある地域や急傾斜が厳しく崩落の恐れがある地域への対応について、どうなっているのか。また、高齢者の方でも特に耳が遠い人、目が弱い人、足が弱く歩くことが難しい方、一人住まいの方への周知方法をどうしているのか、避難地移送道路等について伺いたい。

市長 現在、ハザードマップを新たに作成しておりますし、県においても土砂災害に関する危険区域の指定がされています。これらの情報を市民の皆様にお知らせし、安全・安心の確保のために活用していただくことが大切だと思っています。市内の自主防災組織の組織率を高め、ハザードマップや危険災害地の指定をお示しし、地域の危険リスクをしっかりと地域の方々に周知して、どのように備えていくかを考えていただきたいと思っています。

一般質問

宮本
議員

○調川港湾整備推進について

質 調川港湾の新たな造成をするこ
とによって、70億〜80億円の公共投
資、民間投資、新規雇用も見込まれ
ることから、松浦市の目玉として、
是非、実現していただきたいと思っ
ますが、県としては、松浦市として
の考え方を示してくださいとのこと
ですが、市として、これに特化した
プロジェクトチームか調川港湾整備
推進室でも設置してやるべき事業と
考えますが、市長の考えをお願いします。

市長 再整備されている魚市場の機
能性をさらに高めていくためにも、
加工団地を新たに造成していく必要
があります。市としても、調川港湾
地域における松浦魚市場を核とした
加工・物流拠点の整備については、
新たな企業の進出や既存企業の事業
拡大、それに伴う雇用の創出といっ
た観点から、非常に重要な事業とし
て位置付けており、県に対しても新
たな造成について要望を行っていま
す。市の財政状況や立地の確実性な
ど、本格的に事業を推進するため
には様々な検証が必要であり、それ
を進めるためには、水産関係業者の
ニーズや県の当事業に対する取り組

の方向性について明らかにしなけれ
ばなりません。このため、各企業を
訪問し、意向調査を行いました。今
後これらが判明した時点で、プロジ
ェクトチームを編成して事業の推進
に当たっていききたいと考えています。

○企業版ふるさと納税について

質 地域活性化に向けて自治体の取
り組みに支援する「企業版ふるさと
納税」制度は、今年度から、寄附額
の約9割に税の軽減が引き上げられ
ますが、当市は、企業版ふるさと納
税推進室などを設置して強力に推進
する必要があると思っていますが、
市長の考えをお願いします。

副市長 企業版ふるさと納税の活用
は、新たな財源の確保として検討す
べき大事な課題であると思っています
。企業のほうから寄附を頂く制度
でありますので、企業誘致に関して
いろんな企業を訪問して立地のお願
いをして回っている部門との連携を
しなければならぬと思っています。
仮に一つの専門部署を設けても、
いろんな関係課と連携して企業版ふ
るさと納税の活用を図っていかなく
ればいけないと思っています。既存
のふるさと納税・魅力発信室があり
ますので、そこを軸として横断的な
応援体制を作った中で、この活用を
検討して進めていきたいと思ってい
ます。

一般質問

武部
議員○今福町浜ノ脇地区災害による復旧
工事のスケジュールについて

浜ノ脇地区に起きた土砂崩れ、人
的被害はなかったものの、家屋一軒
と道路が崩落して、通勤、生活物資
の購入、通院などへの困難をきたし
早期復旧が望まれている。

質 復旧工事の現状と今後のスケジ
ュールについて説明を。

建設課長 現状については、測量、
地質調査を終え、専門家による現地
調査を行いました。関係機関と協議
を行いながら、復旧工法の検討に著
手しています。スケジュールについ
ては、復旧工法の立案までを令和2
年3月末を目標に進めています。

質 完成の予定はいつになるか。

建設課長 災害査定の時期も決定し
ていないことから、明確な回答がで
きないことを前提とすると、4、5
年を要する可能性があります。

○遊休資産、松浦市総合衛生センタ
ーの再活用について

遊休資産化している今福町土肥ノ
浦にある総合衛生センターごみ処理
場を再活用したいと東京の企業が提
案されましたが、松浦市は15年後北
松北部クリーンセンター廃止後の代

替候補として残すこととして断った。
議員8名は納得がいけないので、国
へ要望に行く途中、東京都のほとん
どのごみを処理する当該企業を視察、
幹部に説明を受けた。

質 松浦市総合衛生センター解体費
用について、ごみ処理場、し尿処理
場それぞれ概算でお答えください。

市民生活課長 現段階で積算をして
いませんので、北松北部環境組合の
試算を参考とすると、ごみ処理施設
は2億2000万円、し尿処理施設
は6000万円を見込んでいます。

質 15年先に使うか分からない休止
中のごみ処理場を放置して、企業誘
致も厳しい中、多額の解体費を使う
より、リサイクルの発電事業で15人
の雇用がある当該企業の提案を受け
た方が得策ではないか。市長再考を。
市長 松浦市全体でごみを処理して
いますが、もう間もなく次の場所を
決めるという議論が始まります。そ
の時点において地域のごみをどこで
処理するのか、市としてもしつかり
踏まえておかねばなりません。

5年後ぐらいには決まるということ
ですので、松浦市の土地としてこれ
を一つの選択肢として保有したいと
考えています。まだどこに造るかとい
う議論は始めていません。ですがか
ら、その方針が決まるまで、あくま
でも候補地の一つとして持っておき
たいと思います。

一般質問

山崎
議員

○星鹿小学校通学路のイノシシ対策について

質 昨年度、星鹿小学校の児童が登下校中においてイノシシと遭遇するということが何度もありました。頻繁にイノシシと遭遇することがあれば、間違いなくいつかは事故が起ることは容易に想像できます。昨年度、イノシシが確認された場所での対策をお聞かせください。

学校教育課長 関係課や関係者と現地調査を行いました。その後、登校時間帯に教職員が現場で安全指導を行いました。あわせて、関係者や地域の方に子ども達の登下校の見守りをお願いしました。また、地域の方の協力で除草作業が行われました。さらに、羽黒神社の通学路には動物撃退用のライトを設置しました。また、イノシシの対応についての通知や通学路安全マップの再点検を行い、安全指導の徹底をお願いしました。

質 特に気になるのは小学校裏側プール横の通学路です。今年度においてもここで児童が遭遇しております。通学路とイノシシの通り道がクロスしていて、これはもう両サイドに柵を設置していただかないと防護はできないと思うのですが、ご感想をお

伺います。

学校教育課長 昨年、関係者と協議を行いました。柵を設置することでイノシシの出没場所が変わり、車が通る通学路や耕地内に出没するおそれがあるため、その段階では柵を設置しないこととなりました。しかし、その後も登校中の児童がイノシシに遭遇しているため、今後、学校や関係課、関係者と現地で再度調査を行い、安全対策について協議を行いたいと考えます。

○松浦港（御厨地区）の埋立地について

質 今後のスケジュールについて伺います。

政策企画課長 令和2年度の県の事業として採択され、現在、国で令和2年度新規事業として審査をされています。国の採択結果は令和2年2月頃で、採択後、予算化されます。

質 緑地整備とはどのような完成イメージすれば良いかお尋ねします。

政策企画課長 今の補助整備で可能な範囲では、芝生広場、駐車場、東屋やベンチなどの設置を計画されています。

このほかに、「松高支援について」「市道不老山公園線の復旧について」「松くい虫防除について」「友田ビジョンと友田市長就任後の2年間の振り返って」を質問しています。

一般質問

武辺
議員

○西九州自動車道の現況と開通後の展望について

質 松浦ICが開通したことによる国道204号の交通量の変遷についてお尋ねします。

都市計画課長 国土交通省の交通量調査によると、開通前の平日交通量が約7600台で開通後が約2500台です。

質 松浦佐々道路の進捗状況は。

都市計画課長 平成30年度末で事業進捗率約14%、用地進捗率約29%です。

質 松浦佐々道路開通後の青写真はどのように描いていますか。

市長 人を呼び込むための仕掛けづくりを継続的に行うことが必要です。御厨地域においては、松浦港御厨地区埋立地の活用や既存の大崎海水浴場や長賢家住宅の主屋、空き家の活用といった拠点づくりが必要です。

質 開通後、国道204号の交通量は明らかに減少します。埋立地活用等も密接に関わってきますが、民間を巻き込んで策を講じていく考えはありますか。

市長 第2次総合計画を作りそこに掲げたものを実行していく段階で、それぞれの地域ごとにまちづくりを

考えていくためには、地域の皆さんも巻き込んだミーティングは必要だと考えています。

○松浦市読書活動推進計画について

質 松浦市読書活動推進計画の具体的内容をお知らせください。

生涯学習課長 3つの柱があり、1つ目がそれぞれの年代に応じた読書活動の推進、2つ目が図書館機能の充実、3つ目が市民との協働による読書活動の推進です。

質 市立図書館が計画発信の核となりますが、図書館システムの現状、問題点についてお尋ねします。

生涯学習課長 平成13年度から更新しながら運用している状況で、老朽化が進んでいます。

質 システム改修等、市長はどのように認識していますか。

市長 様々な不具合により利用できなくなることが予想されますので、十分配慮して対応したいと思っています。

質 学校図書館整備10カ年計画の総括をお願いします。

学校教育課長 図書標準冊数の達成については、蔵書率が平成30年度末で79.9%に達しています。子どもに薦める本500選や新聞の配備も完了しています。学校図書支援員を市内小中学校に概ね週1回の割合で配置し、子ども達の読書活動の質的・量的向上が図られています。

一般質問

川下
議員

○地域防災について

【質】自主防災組織の必要性について市長の見解は。

【市長】近年の自然災害は、想像を超えるものが多く、災害の規模によっては、公的機関による支援、救助、救護の対応に時間がかかる事態に陥ることも考えられます。一人でも多くの市民の命を守るためには、市民の皆さんが自分の命は自分で守ることを心がけていただき、自主防災組織の結成が必要だと考えます。

【質】自主防災組織の単位を自治会単位から、川の氾濫や土砂災害など災害種を同じくする自治会同士で大きく組織する方が組織率を高める上、訓練などの実施率の向上につながるのではないかと提案したい。（すでに設置している自治会は除く）。

【市長】要配慮者への支援は自治会単位が最も有効に機能するため、自治会ごとに結成することを基本に進めたいと思います。しかし、訓練等で連携できるところは連携できるように働きかけをしていきます。

【質】一方、災害のリスクを減らす観点から見て志佐川の堆積物は問題と考える。県の管理下ではあるが市として今後の整備についてどのように

把握しているか。また、市長には今後改善や整備のためピッチをあげるよう県への強力なアクションをお願いしたい。

【市長】市としては、継続的に河川管理者の県に対し、河川内の伐採及び堆積土砂の撤去を要望しています。さらに、長崎県及び長崎県議会に行っている特に重要な要望の中に志佐川の河川改良について要望を追加したところ です。

○JCHO松浦中央病院（仮称）について

【質】開院に向けたスケジュールと進捗状況について伺います。

【健康ほけん課長】来年10月の開院に向け順調に進捗しています。

【質】医師の確保について、計画に対する現在の見込みは。

【健康ほけん課長】7名の計画に対し現在5名です。JCHOにおいて確保に努力されています。

【質】平成29年9月2日に市内11団体を中心とした市民決起大会が行われるほど当院に対する市民の期待値は高く、それには医師の確保が重要な核となる。市長には医師確保に尽力いただきたい。

【市長】市でも一定の役割を果たす必要があると考えており、JCHOとともに、長崎大学に対し要望を行っています。今後は佐賀大学に対しても同様の要望を行います。

一般質問

江
安
議員

○乗り合いバスの土・日運行について

【質】志佐町開催のイベントに行きたいが、乗り合いバスが休みなので行けない。乗り合いバスの土日の運行を、との声にどう応えられますか。

【地域経済活性化課長】運行事業者の運転手確保が難しく、運行経費も大幅な増額が見込まれ、赤字額も増加するため、実施は困難です。

【市長】交通弱者と言われる方々の移動手段を確保することは重要な課題であることは十分承知していますが、財源は限られています。高齢者対策等と併せて施策を考え、本市において実施可能なものを考えます。

【質】（仮称）市民福祉総合プラザが出来上がり、今福や御厨方面から路線バスで来るとなると、降車は宮の前、松浦駅前となり、徒歩では遠いので何とか対応をしてほしいとの声もあります。地域公共交通網形成計画と一緒に考えられるのですか。

【地域経済活性化課長】その点については、公共交通網計画とは異なります。西肥自動車と協議をしましたが、バス停をプラザ付近に設置するのは難しいとの結論になっています。

○原子力防災避難計画について

【質】九電の玄海原発再稼働は容認しないという市民の声に反し、2基が稼働しております。過酷事故に対して住民は強い不安を抱いておりますが、避難計画の流れはどうなっていますか。

【防災課長】鷹島地区は玄海原子力発電所から概ね半径5キロ圏内のPAZに準じた地域で、原子力緊急事態の時には避難をさせていただく地域です。それよりも遠い半径30キロ圏内はUPZ圏内で、まず屋内退避をし、その後の放射線のモニタリング結果により避難をします。

【質】避難の体制に応じた人・物・資機材などの配備について、また集団避難では、バスが130台余必要となっています。それぞれ、どうなっていますか。

【防災課長】地域防災計画中の原子力災害対策編で、長崎県と打ち合わせで毎年改定して取り組んでいます。

【質】住民が被曝せずに避難するためには、計画を詰めなければなりません。市長の考えはいかがですか。

【市長】実際に事態が起きてみると計画どおりでないことがあり得ます。だからこそ、訓練をして足りない点、不備な点、気づいた点を今後の計画に反映することが必要です。

【質】緊急エリアメールでは、外国の方への配信の検討はいかがですか。【防災課長】今回初めての取り組みでしたが、今後は英語での配信も検討します。

一般質問

山口
議員

○福島大橋の現況と今後の建設に向けて

質 橋の長寿命化対策工事は今後どのような対策がされるのか。

建設課長 県によると、橋梁の支承部と橋脚の一部に耐震補強が必要とのことで、令和2年度に詳細設計を行い、令和6年度までに耐震補強対策を実施する計画です。

質 町の中心部に看板を設置するとか、事務局を市でやる等目に見えた動きを市がやらなければ前に進まない。市長の考えを伺う。

市長 市あるいは期成会がどのような役割を担うのか整理が必要で、活動の中身も変わる可能性があるため、協議を行って今後の対応を検討します。

質 幅員が狭く、歩道もなく安心して通行できない。緊急時の命の避難橋としては問題で改良を含め検討すべきでないか。

建設課長 橋梁長寿命化修繕計画に基づいて適切に維持管理をしていくことや橋の重要性や幅員がやや狭いことは認識しているが、現況では機能上大きな問題はないという県の見解が示されています。

質 毎年県の方へ10項目要望されて

いるが、橋の件は今年は前年より下がって最後尾の11番目だった。期成会活動にも影響する。市長の考えを伺う。

市長 掲げている11項目は、本市として特に重要な項目であり、11番目にあるから力を入れないということではなく、市にとって重要であるという思いで取り組んでいます。

○交通空白地の解消及び交通弱者支援対策について

質 山間部ほどバス停は遠く、道は狭く坂道で高齢者も多い。車なしの生活は大変である。高齢者の交通事故が社会問題となっている。免許自主返納支援策はされているか。

防災課長 昨年7月から自主返納を支援する目的で、外出支援券1万円分を交付しています。

質 わくわくおでかけ外出支援券の利用状況ではタクシー利用が60%近くある。この支援策や路線バス支援を見直し、低料金で年間利用できる交通体制作りは必要ではないか。

福島地区については、期待が持てる答弁があつていたが、その後どのように進められているか。

地域経済活性化課長 福島地区の交通対策については、通学にはスクールバスを、そのほかは予約制乗り合いタクシーを導入する計画ですが、未だ関係機関や事業者との協議が調っていません。高齢者対策と併せて交通弱者対策を考える必要があり、地域の皆様の意見も伺って考えます。

一般質問

谷口
議員

○安心して子育てできる環境整備へ向けた本市の取り組みについて

質 施設整備や補助事業に関しての拡充に制約がある中で、今後は保育への送迎サポートのような育児への困難をもつ家庭のニーズに合った、切れ目ない支援の充実に向けた取り組みが必要ではないか。

子育て・こども課長 対象となる保護者や児童数は年々減少傾向にありますが、養育能力や養育環境における支援を必要とする対象者は年々増加傾向にあります。本市においても子育て世代包括支援センターの設置を目指し、専門職による総合的な相談支援というのを実施して切れ目のない支援を構築したいと考えます。

○高齢者等の移動手段確保並びに買い物弱者へ対する支援策の検討について

質 公共交通空白地解消に向け、公共交通空白地有償運送の活用による新たな視点を取り入れての取り組みを促進するお考えはないか。

地域経済活性化課長 公共交通維持のため、各事業者等に毎年多額の補助金を支出し、乗合いのバスやタクシーの赤字補填等でも費用が発生します。なので、全てを市で賄うというのは

限界があります。先進地事例を研究し、交通空白地解消に繋がる事業を導入していただけないか、関係者の理解も必要ですが、導入を検討する事業者や組織があれば支援を検討したいと思います。

質 小売店の減少や移動手段の制約等により日常の買い物にも困る方が多く、今後増加が見込まれる。長野県下諏訪町ではその対策として、民間事業者へ委託し移動販売車の導入を行った。本市でも一部事業者による移動販売もあるが、小売店舗から遠距離の地域への移動販売の取り組み促進に向けた支援を検討するお考えはないか。

地域経済活性化課長 高齢者対策と共通するため、関係課とも情報共有しながら支援の在り方について協議しています。松浦市ががんばる中小企業応援補助金に民間業者が行う買い物弱者支援事業に係る広報活動費用に対する補助制度があります。また、松浦市地域産業雇用創出チャレンジャー支援事業補助金に、買い物弱者対策などの地域課題解決に資する事業への補助制度があります。こういうものを活用して、事業に取り組み民間業者があれば協議をしていきたいと考えます。

このほかに、「地域経済活性化へ向けた戦略的投資」「企業版ふるさと納税の活用」「西庄線及び松浦江迎線の復旧見通し」について質問しています。

一般質問



徳田 議員

○国土強靱化地域計画について

質 国は国土強靱化地域計画を策定した自治体の補助事業に予算配分を21年度までに要件化を検討している。松浦市は今後どう対応するのか。

政策企画課長 庁内の関係課と協議を行って、令和2年9月末までに国土強靱化地域計画を策定するように検討しています。

質 国は、東日本大震災の折、茨木県神栖国備ガス基地から緊急放出、その後法律を改正し災害に対応する南海トラフ巨大地震へのバックアップはどうするのか。他地域への送電、LPガスの安定供給はどうするのか。

地域経済活性化課長 送電については、電気事業法に基づいて電気事業者が供給計画を策定し国に届け出ています。LPG基地については、事業継続計画を策定されており、そのマニュアルに基づいて対応されます。

質 LPG基地・国家備蓄基地の他地域へのバックアップには運搬道路や橋梁が重要で、福島大橋はどうするのか。

建設課長 県において耐震補強が必要ということですので、次年度以降、それに向けて動かれます。

質 今の橋と並行して仮設道路兼

用で橋を架ける計画を国土強靱化計画に記載できないか。

建設課長 県の計画を十分見ながら検討したいと考えます。

○福島の全島公園化について

質 全島公園化について昨年の12月以降どのように取り組まれたか。

福島支所長 オートキャンプ場の遊具については、職員で木製遊具を撤去しましたが、コンクリート基礎等はそのままです。蛙鼻公園については、入口看板を更新し、園内の通路の土砂崩れは応急工事により対応しています。大山公園については、県の補助を受けて公園区域内の伐採を行いました。初崎公園の常設テントは、木製台座を職員で撤去しましたが、コンクリートの基礎部分はそのままです。

質 全島公園化について、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定して、企業版ふるさと納税での対応が考えられないか。企業も2千万円の寄附で実質2百万円の負担で済む。コマーシャル・企業のイメージアップにつながることもできる。

市長 当事業を企業にとって資金を投じる価値のある魅力的なものにするため、地元関係者との対話を進めながら事業内容の検討をしていきたいと考えます。

一般質問



神田 議員

○鷹島小・中学校の整備及び周辺整備の構想と小学校跡地活用協議について

質 鷹島小中学校施設整備の今後のスケジュールについて。

教育総務課長 建築・機械設備工事と電気工事を令和3年1月中旬の工期で進めます。令和2年度に中学校の特別教室棟と屋内運動場の改修を行い、その後、令和3年度に小学校の校舎と中学校の普通教室棟の解体を行う予定です。

質 小学校跡地活用の会議についての開催予定とメンバーについて。

政策企画課長 できるだけ早い時期に協議したいと考えています。メンバーは、区長会を初め、産業、観光、福祉等の団体、高齢者グループ、婦人会、青年会、PTA等幅広く呼びかけたいと思います。

質 学校整備完了後、小中学校周辺を公共施設ゾーンとする青写真が描かれているが、配置計画に至った経緯について。

鷹島支所長 平成29年の4月に前市長から鷹島小中学校の建設に絡み、鷹島支所複合庁舎等配置計画策定の指示を受け、関係各課と協議を行い、同年11月に決裁をいただきました。

質 小中学校周辺の総合的な施設計画の構想について、市長の見解を。

市長 住民の利便性を考慮して計画的にまちづくりを進めていくことは重要であり、皆様の御意見をお聞きしながら検討していきます。

○松浦地区交通安全協会の交通安全活動と運営状況について

質 新聞に地区安協存続の危機と記載されていたが、現在、県警と県安協の協議は進んでいるのか。

防災課長 来年度の運転免許証の更新事務業務委託の入札に参加するという方向性が決まったとのことですが、松浦地区安協は、どのような財源をもとに運営されているのか。

防災課長 運転免許更新時の会費収入、写真撮影手数料、県の証紙販売手数料などです。

質 松浦地区安協の1年間の活動内容について。

防災課長 四季の交通安全運動期間中、早朝からの街頭指導を初め、車両パレードや街頭での各種キャンペーンなど年間を通して多くの活動があります。

質 松浦地区安協の存続の危機となった場合、行政が中心となり協議していく必要を感じるが、市長の見解を。

市長 会費を頂く場がなければ会費収入がなくなっていくため、警察署で引き続き更新事務を担っていたことが大切だと考えていますので、関係機関に対してそのことを伝えていきたいと考えます。

一般質問

和田
議員

○遊休資産化している市有財産に関する民間事業者の活用について

【質】平成15年度に廃止した松浦市総合衛生センターごみ処理場を活用してリサイクル発電事業を展開したいとの民間企業の提案に対し、市の対応を時系列で説明してください。

【地域経済活性化課長】当該事業者と本年4月に面談し、会社概要と事業概要について説明がありました。その後、6月に電話で現地視察の申し出があったため、その用地の今後の活用の可能性及び現地視察の可否について庁内協議を行い、現在の北松北部クリーンセンターが稼働を終了した後の新たな処理施設の建設用地として市が保有しておくべきとの結論になり、当該事業者による結果をお伝えしました。

【質】市長は9月定例会の一般質問の答弁で「民間企業から市有財産利用の申し出があった場合には、市有財産が市民の財産であることを念頭に置いて、事業内容や事業効果、またその土地を市が今後どのように活用しようと考えているか等、総合的に判断して、積極的に利活用を考えたいと思いますし、市民の皆様の意見も十分に把握しながら対応してまい

ります。」と答えておられます。

市長が行政判断を下される場合に重要なのは説明責任を果たすことであり、そのためには多くの情報が必要で、新たな施設用地としての必要性、それによって生じる解体費用、維持管理費、民間企業の提案事業に関する情報、地域の皆様の意見など、これらの情報を総合的に判断することで市民の皆様への説明責任を果たせると考えます。今回の事業提案については、当該施設の内部も含めて企業側にしっかりと見学していただき、企業側が事業化できると判断すれば、詳細な事業提案を頂き、地元の皆様の意見も取り入れながら、多くの情報、判断材料をもって、当該施設の活用を検討すべきと考えますが、市長の答弁を求めます。

【市長】県は、佐世保県北地区のごみ処理場の広域計画は5施設で終了とのこと、今後は現状の5施設で運営していく方針であります。その場合、15年後に現在の施設を解体、更地に戻すため、新しい候補地が必要になるので、数年後に新しいごみ処理施設の建設方針が決定されるまでの間は、現状のまま保有しておくことが最優先と判断しております。

このほかに、「子育て支援施策に関する民間事業者の活用」、「調川港を中心としたまちづくりの基本構想」、「新たな「まち・ひと・しごと創生総合戦略」」について質問しています。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】令和元年度松浦市一般会計補正予算（第5号）（関係係）

補正額4億2835万9000円

が議決され、歳入予算額が219億9130万9000円となりました。

主なものに国や県からの支出金（国や県から松浦市へ支払われる負担金や補助金）として3億503万1000円計上され補正額全体の約71.2%を占めています。主に障害者自立支援給付費負担金の実績見込みによる増額や、令和元年8月豪雨により被災した災害復旧のための国・県からの負担金が計上されたものです。

その他、市税（市民税・固定資産税）の決算見込み額の増として4071万3000円（補正額全体の9.2%）、市債（市の借金）として8180万円（同、19.1%）が計上されています。

【議案】令和元年度松浦市一般会計補正予算（第6号）（関係係）

補正額1028万6000円が議決され、歳入予算額が220億159万5000円となりました。基金（市の積立金）の繰入によるものです。

【議案】松浦市会計年度任用職員報酬等に関する条例の制定について
地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、会計年度任用職員制度が導入されることに伴い、条例が制定されました。

文教厚生委員会

【議案】令和元年度松浦市一般会計補正予算（第5号）（関係係）

○東京2020オリンピック聖火リレー事業に81万8000円。また、令和2年度支出分として、別途、債務負担行為の計上217万6000円があります。

今年7月24日から開催の東京オリンピックでは、長崎県でも聖火リレーが取り組まれ、5月9日（土）に本市を通過するため、その準備経費等が計上されています。なお、聖火リレーコースは、市役所駐車場から道の駅「海ふるさと館」までの予定で

【その他】各種パブリックコメントの実施について

○次のパブリックコメントが実施されます。本市の各施策に関する基本的な計画等の策定に当たり、それぞれの原案が公表されています。広く

市民の皆様方からの意見を募集しています。

- ①「松浦市健康づくり総合計画(案) へ第2次健康増進計画及び第3次食育推進計画」
- ②「自殺対策行動計画(案)」
- ③「第2期松浦市子ども・子育て支援事業計画(案)」
- ④「松浦市障害者計画(案)」

産業経済委員会

【議案】松浦市建築関係手数料条例の制定について

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部改正に併せて、松浦市手数料条例から建築関係手数料を分離し、独立した条例として整備することに伴い本条例を制定するものであり、原案のとおり可決しました。

【議案】令和元年度松浦市一般会計補正予算(第5号) (関係分)

8月26日から29日にかけての秋雨前線豪雨の影響による災害に関する災害復旧費として、建設課においては道路7箇所、河川5箇所の工事請負費を含む1億7806万5000円が公共土木施設災害復旧費として計上されました。あわせて、災害応急対策費として400万円が計上され、いずれも災害復旧に必要な予算の補正であると認め、原案のとおり

可決しました。

農林課においては、農地14箇所、農業用施設14箇所の工事請負費を含む2億2200万円が農地農業用施設災害復旧費として計上されました。いずれも災害復旧に必要な予算の補正であると認め、原案のとおり可決しました。

各委員会の行政調査

【総務委員会】

令和元年10月2日から10月4日の行程で行政調査を実施いたしました。

【山口県周南市】

テーマ…防災情報収集システム整備事業および自主防災組織育成事業について

目的…①災害時の住民に対しての情報伝達、情報共有の仕組みづくりについて学ぶ。②自主防災組織の活動状況について学ぶ。

内容…周南市において想定される災害は「地震、津波、土砂崩れ、洪水、高潮、ダム放流、石油コンビナート災害」と種類が多く、且つ災害規模が大きいことから、独自の防災情報伝達システムの構築を喫緊の課題と位置付けた。以降、災害時における「市民への防災情報収集伝達手段の確保」と「災害対策本部と総合支所、各支所及び各避難所等との情報収集伝達通信網確保」のための整備事業

を、平成29年度から3カ年で行なった。総事業費は16億8061万5000円とのこと。また、自主防災組織については、組織構成の基本単位を一つ又は二つ以上の小学校区単位としている。活動支援として資機材購入等の際に年額30万円以内(補助率2/3)の助成がある。自主防災組織同士の共同防災訓練の実施などを行い、地域防災力の強化を図るとともに自主防災組織の災害対応能力の向上を図っている。

【広島県大崎上島町】

テーマ…広島県立大崎海星高校に對する学校支援について

目的…全国でも事業効果をあげている大崎上島町の取り組みについて学ぶ。

内容…広島県立大崎海星高校は1学年1クラス40人の小規模学校であり、平成26年度の全校生徒は67人だった。広島県教委が策定した「基本計画」により、2年連続して全校生徒数が80人未満となった場合は、①分校化②特定の中学校との中学学園構想への移行③統廃合のいずれかの措置が取られることとなった。そこで①生産年齢人口(生徒・保護者)の流出抑制②大崎上島町ならではの子供の育成などの思いから、町として高校活性化に向けた様々な支援を行うこととし、平成27年度に大崎海星高校において「大崎海星高校魅力化プロジェクト」推進計画を策定。大崎上

島町でも、平成27年10月に策定した「大崎上島町まち・ひと・しごと総合戦略」において、大崎海星高校に對する支援を、地方創生の取り組みとして位置付け、施策を展開しており、支援の柱として「公営塾の設置」「全国募集」「生徒の寮の設置」などがある。

事業実績としては、平成27年度、全校生徒63人から平成31年度の全校生徒は102人と約40人も増加している。



【広島県大崎上島町】



【山口県周南市】

その他各委員会の活動

【文教厚生委員会】

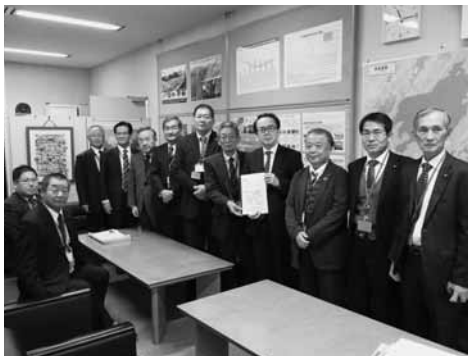
10月3日に「鷹島神崎遺跡に関する取り組みについて」を調査事項とし、長崎県教育庁学芸文化課への行政調査を行いました。

長崎県としても県学芸文化課文化財班に鷹島神崎遺跡に関する事務分掌を設け、潜水士資格を持つ職員を県埋蔵文化財センターに配置するなど、鷹島神崎遺跡の重要性については諒解されており、国への働きかけ等も適宜行っているとのことでした。今後については、最終目標である水中遺跡の引き揚げ・展示までのプロセスを構築するために、まずは地域の人たちに「遺跡があつて良かった」と思ってもらえるような土壌づくりが必要であること、また、独立行政法人九州国立博物館と連携した調査研究が重要になってくることのお話をいただいたところです。

本委員会としては、市民が遺跡の魅力を知り、遺跡があることを誇りに思い、遺跡を大事にしていく気持ちを育むような取り組みが行えるよう、行政と連携して推し進めることといたしています。

【西九州自動車道整備促進特別委員会】

伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会の活動計画に基づき、11月8日に佐賀・長崎両県知事、佐賀・長崎両県議会議長並びに佐賀国道事務所長、長崎河川国道事務所長に対し、11月18日に国土交通省九州地方整備局長に対し、また11月21日・22日に国土交通省、財務省及び自民党本部並びに長崎・佐賀両県選出国會議員に対し、伊万里道路、伊万里松浦道路、松浦佐々道路の事業促進と早期完成、道路整備予算の安定的な財源確保を要望いたしました。更なる事業の推進には、地方自治体の協力が不可欠であるため、今後ともより一層ご支援をお願いしたいとの回答をいただきました。



【西九州自動車道整備要望活動】

【議会改革特別委員会】

○松浦市議会基本条例策定のための作業部会設置について

議会改革特別委員会において議会基本条例の策定が決定したので、作業部会を設置いたしました。作業は随時行っており、メンバーは、谷口、和田、山崎、川下です。



【作業部会】

○議会ペーパーレス化

11月7日、福岡市中央区にて、ペーパーレス会議システムで議会導入シェア第2位の富士ソフト(株)のセミナーに委員長(川下)・副委員長(山崎)で参加してきました。

○コンプライアンス研修

11月25日、第一法規(株)によるコンプライアンス研修を行いました。



【コンプライアンス研修】

議会目誌

11月

6日◇決算審査特別委員会

◇議会改革特別委員会作業部会
8日・18日・21日・22日

◇伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会による要望活動
(佐賀・長崎・福岡市、東京都)

12日◇沖縄県名護市議会会派視察受入れ
25日◇議会改革特別委員会

26日◇西九州北部地域市町議会協議会
(佐世保市)

◇長崎県議会会派視察受入れ
27日◇雲仙市議会会派視察受入れ
29日◇議会運営委員会

◇各派代表者会議

12月

6日・19日

◇12月市議会定例会

12日◇広報特別委員会

24日◇まつナビ

1月

4日◇成人式

7日◇消防出初式

17日◇広報特別委員会

◇議会改革特別委員会作業部会
22日◇徳島県吉野川市議会委員会視察受入れ

議案等の審議結果

条 例	○松浦市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正についてほか 2 件	可決（多数）
	○松浦市手数料条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 について　ほか1 件	可決（全員）
	◇松浦市建築関係手数料条例の制定について　ほか2 件	可決（全員）
	○松浦市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について　ほか1 件	可決（多数）
	○松浦市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決（全員）
予 算	◎令和元年度松浦市一般会計補正予算（第5号）	可決（全員）
	◎令和元年度松浦市一般会計補正予算（第6号）	可決（多数）
	□令和元年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）ほか5 件	可決（全員）
	◇令和元年度松浦市鉾害復旧灌漑用水施設維持管理事業特別会計補正予算 （第1号）　ほか9 件	可決（全員）
そ の 他	□（仮称）松浦市市民福祉総合プラザ整備事業新築工事　建築主体工事請負契約 の変更について　ほか1 件	可決（全員）
	□鷹島地区小中学校校舎改築　建築工事請負契約の締結について　ほか1 件	可決（全員）
	※松浦市教育委員会委員の任命について	同意（全員）
	※松浦市公平委員会委員の選任について	同意（全員）
決 算	▼平成30年度松浦市一般会計の決算認定について	認定（全員）
	▼平成30年度各特別会計の決算認定について　11 件	認定（全員）
請 願	◇地滑り災害復旧・防止施工実施に関する請願について	採択（全員）
	◇「労働者協同組合法（仮称）」の早期制定を求める意見書の提出を求める請願 について	採択（全員）
議員提案	※「労働者協同組合法（仮称）」の早期制定を求める意見書の提出について	可決（全員）

(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。

◎・・・各常任委員会へ分割付託 ※・・・委員会付託を省略し全員審査

○・・・総務委員会 □・・・文教厚生委員会 ◇・・・産業経済委員会

▼・・・決算審査特別委員会

編集後記

広報特別委員会

特別委員長
委員長
副委員長
委員
委員
委員
委員
委員

安武川山谷和崎
江辺下崎口田田

廣美 大介 誠一 高也 鈴枝 結子

明けましておめでとうござ
います。令和初めての新年を
健やかに迎えのこととお慶
び申し上げます。

平成30年第1回定例会で設
置された広報特別委員会のメ
ンバーにより発行してまいり
ました「市議会だより」も8
回目を迎え、編集後記も一回
りいたしました。次回以降は
新たなメンバーに変わるかも
しませんが、2年間ありが
とうございました。

昨年は、年号も平成から令
和に変わり、消費税も8%か
ら10%に増税され、更には大
きな自然災害に見舞われるな
ど激動の一年であつたように
感じます。新たな令和の御代
が、穏やかな時代であらんこ
とを願わずにはいられません。

議員の4年間の任期も後半
に入りました。議会改革の取
り組みも正念場を迎えており、
この「市議会だより」で、よ
り多くの情報を発信していけ
たらと思っております。

これからもよろしくお願
いします。

(大)